

◆ 赤星病 ◆

中間宿主であるビャクシン類に対して4月上旬頃から10日間隔で石灰硫黄合剤40倍またはバシタック水和剤75 1,000倍を2回ほど散布する。ナシに対しては開花直前（4月中旬）および落花直後（4月下旬）が防除適期であり、この時期に黒星病及びうどんこ病との同時防除をかねてDMI剤（下表参照）のいずれかをチオノックフロアブルまたはトレノックスフロアブルの500倍に加用して散布する。

表 DMI 剤の使い方

薬剤名	使用濃度(倍)
アンビルフロアブル	<u>1,000</u> ～2,000
インダーフロアブル	<u>5,000</u> ～12,000
オーシャイン水和剤	3,000～ <u>4,000</u>
オンリーワンフロアブル	<u>2,000</u> ～4,000
サルバトーレ ME	3,000
サンリット水和剤	2,000～ <u>4,000</u>
スコア顆粒水和剤	<u>3,000</u> (2,000～4,000)
トリフミン水和剤	2,000～ <u>3,000</u>
ラリー水和剤	2,000～ <u>3,000</u>

注、アンダーラインの濃度は推奨する使用濃度